

平成21年10月27日

各位

上場会社名 株式会社 篠崎屋
 代表者 代表取締役社長 樽見 茂
 (コード番号 2926)
 問合せ先責任者 経営企画部長兼IR室長 沼寄 昭宏
 (TEL 048-970-4949)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,221	153	146	△691	△4,833.54
今回発表予想(B)	5,499	207	192	△703	△4,911.35
増減額(B-A)	△722	54	46	△12	
増減率(%)	△11.6	35.3	31.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年9月期)	6,317	△357	△412	△1,056	△7,382.08

修正の理由

(1)売上高の修正理由

主に卸売事業における売上高が前回予想時に比べ減少したことによるものです。当社は、卸売事業の収益性向上を推進すべく価格見直し交渉を進めてまいりましたが、そのなかで、採算性を改善できなかった取引について、一部販売を見送ったことにより、卸売事業における売上高が減少しました。

(2)利益の修正理由

営業利益・経常利益に関しましては、2.(1)の通り、卸売事業の収益性が一段と改善したこと、また利益率の高い小売事業における直営店での売上高が予想を上回って推移したことにより、それぞれ前回予想時より利益が増加する見込みとなったことによるものです。

小売事業における直営店の売上高が予想を上回り好調に推移した主たる要因として、当下期注力してまいりました商品開発において、消費者の健康志向を捉えた大豆加工製品を中心とする新商品開発が加速でき、またそれらの販売が好調であったことが挙げられます。

一方、非連結子会社の業績を勘案し貸付金の貸倒引当金を前回予想時より積み増したことなどで、当期純損失は若干増加いたしました。

以上より、平成21年9月期の業績予想につきましては、上記数値のとおりとさせていただきます。

以上